

# テュルクの叙事詩人 Saadet による ユーラシア大地の詩

9月29日(土)

**Saadet Türköz** サーデト・テュルキョズはトルコとヨーロッパの即興演奏シーンを長年わたり歩いてきた。東トルキスタン(ウイグル自治区)から政治難民としてイスタンブールに辿り着いたカザフ系の両親の下に生まれ、幼い頃に同地のカザフ・コミュニティの長老たちから学んだ中央アジアの語り物と、日常聞こえてくるコーランの響きと自由な節回しが、後のスタイルの原点となる。20歳でスイスのチューリッヒに移り住み、フリージャズや即興音楽に出会い、それが自身の音楽的ルーツに塗り重なって、今の独特のスタイルに至る。チュルク族の移動の叙事詩を現代に甦らせるパフォーマンスをアカペラでじっくり聞く貴重な機会を設ける。ロシア、バイカル湖、中央アジアあたりはチュルク族の起源であり、日本人の起源であるとも言われている。西に歩みアナトリアに至ったのがトルコ人であり、東に移動し、朝鮮半島を経て、日本列島に至ったともいわれる。



サードイットのソロの他、ひでお(虚無僧尺八)、河崎純(コントラバス)伊地知一子 + 津田健太郎 + 吉松章などとの共演、更に募集アーティスト(数名)との即興ボイスアンサンブルも企画、ユーラシアの道を浮上させる。



17:00 pm Start

Fee 3000 yen